

3.20 判決勝利へ向けて！福岡集会

玄海原発 3号機 MOX 燃料使用差止裁判 2015年3月20日判決を前に



今、再稼働が進められようとしている玄海原発3号機はプルトニウムとウランを混ぜたMOX燃料を使っている非常に危険な原発です。この「燃料使用差し止め」を求めた裁判の判決が出ようとしています。勝利すれば「全国のプルサーマル炉の再稼働の阻止」、「核燃料サイクルの破たんを白日の下に晒す」ことの実現に繋がります。是非、福岡集会にお集まりください。

みなさんの注目が勝利に導きます！

とき 2015年1月17日（土）13:30～

ところ 日本バプテスト福岡基督教会

福岡市中央区荒戸2-5-16 地下鉄大濠公園駅徒歩7分、西公園参道鳥居手前

主催 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会



【プログラム】

- 「玄海原発再稼働は許されない」
阪上武さん（福島老朽原発を考える会代表、原子力規制を監視する市民の会）
- 「MOX 裁判勝利判決へ向けて」
小山英之さん（裁判補佐人／美浜の会代表）
- 勝訴へ向けて座談会
- 原発避難計画について報告

2009年12月2日、玄海原発3号機で日本初のプルサーマル営業運転が強行されました。

私達はこんな危険なものを許せないと 2006年より運動を続け、その延長線上に2010年8月9日、九州電力を被告として「MOX燃料使用差止請求裁判」を佐賀地方裁判所に提訴。3.11をはさみ、玄海原発すべてを止めるために、今、4つの裁判を闘っています。MOX裁判は提訴から4年を経て、事実上來年1月16日結審して、3月20日(金)に判決が出ます。

大飯原発・福井地裁判決に続いて勝利判決を勝ち取り、判決内容を持って更なる再稼働阻止、原発を止めるための行動にただちに移れるよう、1月17日、福岡にて集いを持つこととしました。

原発避難計画の非現実さも1つ1つ追及し、再稼働に待ったをかけていかなければなりません。

今回、MOX裁判にゆかり深いお2人、裁判補佐人であり美浜の会代表の小山英之さんと、福島老朽原発を考える会(フクロウの会)代表の阪上武さんをゲストとして迎えます。阪上さんは原発立地地域の運動と結びつきながら、政府交渉などでも最前線で再稼働阻止の行動に東奔西走されてきました。玄海MOX裁判も当初から支えていただいた方です。1月16日の佐賀地裁公判と、17日の福岡集会にお集まりください。命を守るために裁判、みなさんのご支援をよろしくお願ひいたします。

■ 次回裁判 倍聴をお願いします！

2015年1月16日（金）

佐賀地方裁判所（佐賀市中の小路3-22）

11:00 地裁前集合・アピール

11:45 MOX公判（追加弁論）

14:00 第11回玄海全基運転停止公判

14:15 第15回玄海2・3号機仮処分審尋

15:30 第4回玄海行政訴訟公判

16:15 記者会見（佐賀市民活動プラザ4F大会議室）

会員募集中！
座談会しませんか？

玄海原発プルサーマルと全基を みんなで止める裁判の会

〒840-0844 佐賀市伊勢町2-14

TEL : 0952-37-9212 FAX : 0952-37-9213

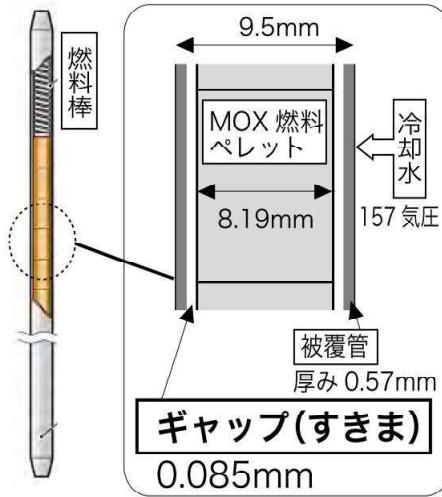
E-mail : saiban.jimukyoku@gmail.com

<http://saga-genkai.jimdo.com/>



争点1 MOX燃料とウラン燃料とは「違う」！

燃料ペレットと被覆管の間にごくわずかなすきま(ギャップ)があります。運転(燃焼)が進むと、燃料ペレットは核分裂で膨張し被覆管と密着して一緒に膨張していきますが、さらに燃焼が進むと、ペレットと被覆管の間にすきまができる可能性があります(ギャップ再開)。すると熱の伝達が悪くなり、ペレット内に熱がこもって溶融し、メルトダウンに至る可能性があります。MOXではウランとの差異から「ギャップ再開」が起こる危険性があり、これが認められれば、プルサーマル発電が依って立つ基盤を崩すことになるのです。



熱くなってきた～！
どんどんガスが出るよ
ギャップがあると
熱がこもるんだよね～

ギャップがひろがる～
こわれちゃうよ～



玄海原発MOX裁判 争点は何？

MOX(ウラン・プルトニウム混合酸化物)燃料は、ウラン燃料よりも危ない!
事故が起きたら、深刻な放射能被害の汚染範囲はウラン燃料時の4倍に!
玄海原発3号機プルサーマルのMOX燃料使用差止裁判では
大きく3つの争点を争っています。

争点2 使用済MOXの行き場はない！



争点3 九電は情報を公開し安全性を立証せよ！

真っ黒の墨塗り資料を証拠として提出 命の価値に上回る商業秘密などありえない！

表1 ベレットの燃焼率(単位kg)	
ASTM (MOX)	MOX ウラン (ウラン)
(米国)	(米国)
ASTM (MOX)	MOX ウラン (ウラン)
(米国)	(米国)

MOX : を超えてはならない
ウラン : を超えてはならない
(注1) MOX のウランより燃焼率が大きい
(注2) MOXベレットの燃焼率よりしてある
の燃焼率よりしてある

表2 ベレットの燃焼率(単位: ppm)	
MOX	ウラン
と同様燃焼率としている。	
り、MOX の ASTM の燃焼率()に於て、	を踏まえて燃焼している。
、燃焼率は大きくなるが、その影響は別途プロ	と同様燃焼率としている。
ン燃焼率として整理しておき、問題ない。	
と同様燃焼率としている。	は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼
は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼	ペレットの半燃焼率に影響する可能性はあるが、ハ
は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼	ルドリームで蒸留した MOXペレット(製造業者 米国)の半燃焼率で燃焼率を算定するが、メ
は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼	ロツク工業)が製造された MOXペレットの半燃焼
は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼	率(以下)は燃焼率を下回っており、問題な
は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼	い。
は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼	は燃焼率に影響するため参考までいる。
は燃焼率が高く(約)、燃料中に高熱的で燃焼	表2は燃焼率に影響するため参考までいる。

「玄海原発3号機及び伊方原発3号機 ウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)燃料について」と題する2007年に保安院が作成した資料。裁判で提出した証拠です。「数値」も「項目」さえも黒塗りで、何がなんだかわかりません!

九電は国の審査を通っていて安全だというだけで、資料の公開を求めて「商業機密」ということで「真っ黒塗り」や「白抜き」ばかりでした。

私達は限られた資料を独自に綿密に分析し、また、裁判の中でそれまで隠されてきた情報の一部が出されました。それらを分析したところ、ギャップ再開の危険性がいよいよ明らかになったのです。九電が安全だというなら、実際に使用されるMOXについて情報をすべて開示、安全性を立証しなければなりません。

使用済MOX燃料は、ウラン燃料なら数年間で済むところ、100年近くプールで冷却する必要があります。100年の管理がまともに行われる保証はありません。

また、使用済ウラン燃料の処分方法は「燃料の装荷前までに政府の確認を受けること」発生が現実的になると「搬出先が決まなければ、いつまでも搬出しなくてよい」との内規がつくられました。子孫の世代まで大きな危険性をもたらすのに、誰も責任をとらないでいいのですか！